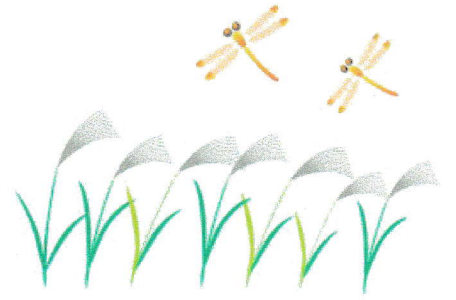


徳成寺

寺はかわら版

第141号 2019年9月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

自然の厳しさを感じますが、お元気で過ごされていると思います。

年月と共に先代住職を知る方も少なくなるのですが、戦前の思い出を

語って下さる方にお会いしました。その方が、女学校に合格した際に

先代住職からもらったプレゼントがいまだにうれしくて忘れられないと

仰っておられました。残念ながら、そのプレゼントは空襲で焼失してしまった

そうです。でも70数年以上経っても心に残ることは、とっても素敵なことですね。

私も先代住職を見習って、皆さんのところに住む住職になりたいと

あらためて思った夏でした。皆さんのところのすみに置いて頂けるよう

一日一日を大切に歩いて参ります。

*子供おつとめ本を、ご希望の方はご一報下さい。

発行責任者
住職
大山健児
坊主
大山ひとみ



大山超世の耳を澄ませば

どうも、長男です。

お盆参りでは大変お世話になりました。

学生時代も少し手伝っていたのですが、本格的に回るのは今回が初めてで、尚且つ記録的な酷暑が続いたので非常に大変でした。

7月頭に導入した小型バイクがこの1カ月で1000kmオーバーしました。狭いと言われる高松市が想像以上に広がった事、色々な場所でこのお寺が多くの人達に支えられている事を改めて実感しました。

まだまだこの暑さは続きそうです。こまめな水分補給と涼しい場所の確保を忘れずに気をつけてお過ごしください。

写真はこの1ヶ月間苦楽を共にしたバイクです。原付にはもう戻れそうにないです。

